

福 議 委 号
令和6年 月 日

福島町議会議長 溝部 幸基 様

総務教育常任委員会
委員長 藤山 大

所管事務調査報告書の提出について

令和6年9月18日福島町議会定例会9月会議において決定した、休会中の所管事務調査を終えたので、会議条例第148条の規定により、下記のとおり報告する。

記

調査事件	5 所管関係施設・事業等の町内視察、執行方針の取り組みについて
調査期間	令和6年11月22日
出席委員	委員長 藤山 大 委員 杉村 志朗 委員 平野 隆雄 副委員長 熊野 茂夫 委員 木村 隆 委員 溝部 幸基
委員外議員	議員 佐藤 孝男 議員 平沼 昌平 議員 小鹿 昭義
出席説明員	町 長 鳴海 清春 総務課長 小鹿 浩二 教育委員会事務局長 石川 秀二 教育長 小野寺則之 企画課長 村田 洋臣
議会事務局職員	事務局長 鍋谷 浩行 会計年度職員 熊谷 治子 係 長 山下 貴義

[委員会意見]

調査事件 5 所管関係施設・事業等の町内視察、執行方針の取り組みについて (令和6年11月22日調査)

11月22日に本委員会を開催し、定住促進住宅など3か所を視察調査し、令和6年度執行方針の取り組み状況を確認したので、調査結果を次のとおり報告する。

【論点とした調査項目・意見】

1 所管関係施設・事業等の町内視察

(1) 定住促進住宅整備事業（企画課）

今回整備した住宅は町内で初めての規格で建てられており、入居者を募集する際には、使用条件等(停電時の対応・除雪等)についてしっかり説明し、入居者の不利益にならないよう配慮されたい。

二棟目の住宅を整備する際は、今回の整備事業を検証し改良していくとのことだが、より脱炭素を意識した住宅の整備を検討すべきと思慮する。

整備計画では、完成期間を20年と想定しているが、その間の需要変化を考慮すると、他の事業との調整をしながら事業年度の前倒しや規模の変更等を検討し、事業の促進を図るべきと思慮する。

(2) 青少年交流センター増築事業（教育委員会）

増築工事の工期は2月28日となっており、説明では工事の進捗状況が60～65%程度とのことから、工期内の完成に向け努力されたい。

なお、工事等に工期延長等の変更が生じた際には、速やかに議会に状況を報告されたい。

(3) 白符町内会館整備事業（総務課）

特になし。

2 執行方針の取り組み状況について

(1) 産業を活性化し、地域資源を活かすまちづくり

① チャレンジスピリット応援事業の実施状況について（企画課）

特になし。

(2) 次世代を育成し、つながり、学び合うまちづくり

①学校給食における町内産米等の使用状況について（教育委員会給食センター係）

学校給食における町内産米の確保については、保冷庫の容量の関係から年3回に分けて調達しているが、今年の米不足による価格の高騰もあり、今後安定して米が確保出来ない事態も想定されることから、給食センターで使用する年間分の町内産米を収穫時期に仕入れることも検討されたい。保管場所については、町で購入を予定している三岳地区の倉庫に玄米で保管することも可能ではないかと思慮するので検討されたい。

これまで、常任委員会で何度も指摘しているが、給食へ町内産品を積極的に供給するためには、一次産業を所管する産業課と教育委員会が連携して町内農家等と調整を図りながら進めることが肝要であり、その点を改めて指摘しておく。

②青少年スポーツの活動状況と支援について（教育委員会学校教育係）

クラブ活動、部活動に参加する子どもの移動について、大きな大会を除き保護者が送迎している状況は保護者の負担も大きく、西部4町の拠点校方式による活動を含め町として何らかの支援が必要と思慮するので検討されたい。

③各体育施設の利用者増に向けた取り組みと施設環境の現状について

（教育委員会生涯学習係）

特になし。

④無形民俗文化財保持や伝統文化存続のための支援について

（教育委員会生涯学習係）

特になし。

(3) 生活基盤が安定し、安全安心に暮らせるまちづくり

①白符防災道路の早期実現に向けた取り組みについて（企画課）

特になし。

②防災訓練の取り組みによる地域の防災力向上と課題について（総務課）

特になし。

(4) 一人ひとりが協働し、持続可能なまちづくり

①ふるさと納税の状況、ふるさと応援基金の活用状況について（企画課）

特になし。

(5) 第2青函トンネルの実現で未来につなぐまちづくり

- ①第2青函トンネル構想実現に係る関係団体との連携状況について（企画課）
特になし。